

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第10回再生可能集積システム時限研究会

委員長 上原 稔（東洋大） 副委員長 中尾健彦（東芝） 名古屋 彰（岡山大）

日時 平成26年10月18日（土） 13:00～17:30

会場 東洋大学川越キャンパス7号館3階ミニシアター（7302室）

プログラム

1. Small World 指向並列プロセッサ 森 秀樹・上原 稔・松本勝慶（東洋大）
2. 光再構成型ゲートアレイの4色カラー構成 藤森卓巳・渡邊 実（静岡大）
3. 40 Gbps 光無線による再使用通信技術 Fabien Chaix・藤原一毅・鯉渕道紘（NII）
4. [招待講演] ナノ材料・ナノロボティクスの創成：バイオ・医療分野への応用（バイオナノセンター見学を含む）
前川 透（東洋大）
5. 軽量クラウド OS における CRuby の実装 金津 穂（阪大）・浅田拓也（Clou dius Systems）
6. 低速オフラインストレージのための3層ストレージモデル 上原 稔（東洋大）

参加資格：特に制限はありません。

参加費：2,000円 学生無料（会場でお支払い下さい）

◎18:00～20:00懇親会を行います。

会場：東洋大川越キャンパス学生ホール食堂棟

会費：3,000円

【問合先】

上原 稔（東洋大）

E-mail：uehara@toyo.jp

RIS ホームページも御覧下さい。

<https://sites.google.com/site/renewableintegratedsystems/>

主催 再生可能集積システム時限研究専門委員会

●第6回安全・安心な生活のための情報通信システム（ICSSSL）研究会

委員長 岡田和則（NICT） 副委員長 田村 裕（中大）・中野敬介（新潟大）

私たちの日常生活は、大地震、豪雨、竜巻等の自然災害から、交通事故や誘拐等児童への犯罪まで、様々な脅威にさらされています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たせる役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つ情報通信システムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

2014年は、偶然にも、新潟県で起こった大規模災害である新潟地震から50年、新潟焼山火山災害から40年、7.13水害（新潟・福島豪雨災害）から10年、中越大地震から10年となり、災害やその対策を考える上で節目の年にあたります。そこで、第6回研究会を、下記の通り、新潟朱鷺メッセコンベンションセンターにて開催致します。

本研究会では、国際危機管理学会日本支部と共催で、災害対応の現場で指揮を執る実務者や防災の専門家・研究者による公開フォーラムや災害関連産業展示も併催致します（<http://emc.nhdr.niigata-u.ac.jp/tiems2014jp/>）。公開フォーラムでは、泉田裕彦 新潟県知事や篠田昭 新潟市長、河田恵昭 関西大学教授（京都大学名誉教授）、高橋姿 新潟大学長らによるパネルディスカッションが行われ、教訓や知見を蓄積した新潟から次の世代や世界へ発信する機会を共有したいと考えております。

また、NEXCO 東日本新潟支社様の御協力により、高速道路の安全管理の現場である同支社管内の管制センターの施設見学会を20日（月）の夕方に行います。ご興味のある皆様の御参加をお待ちしております。また、懇親会を施設見学会の後に新潟駅周辺で企画しておりますので、奮って御参加下さい。

日時 平成26年10月20日（月） 13:30～15:45

21日（火） 10:00～11:40

（21日（火）午後～22日（水） 午前：公開フォーラム）

会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（新潟市中央区万代島6-1。新潟駅万代口から徒歩20分、または、路線バス15分（万代口バスターミナル5番線乗り場より、新潟交通17系統「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗車「朱鷺メッセ」バス停下車）<http://www.tokimesse.com/visitor/access/>）

プログラム

20日

1. 危機管理情報マネジメント支援システムにおける対応フェーズに応じた定型／非定型情報の活用方法の検討
○小阪尚子・一ノ瀬文明・小山 晃・爰川知宏・前田裕二 (NTT)
2. 危機管理情報マネジメント支援システムにおける対応フェーズに応じた定型／非定型情報の活用に関するユーザ評価
○小山 晃・一ノ瀬文明・小阪尚子・爰川知宏・前田裕二 (NTT)
3. 橿原市総合図上訓練における配備体制改善案の検討
○一ノ瀬文明・爰川知宏・前田裕二 (NTT)・山本知巳 (橿原市)・林 春男 (京大)
4. ICN Based Disaster Information Sharing Service
○文 鄭・佐藤拓朗 (早大)
5. 中越地震における高速道路の電気通信設備の被害と復旧について
○関口和史・太田和宏・臼井智徳・松田 豊 (東日本高速道路)

21日

1. スマート雨水タンクの実装状況について
○森山聡之 (福岡工大)・和泉信生 (崇城大)・森下功至 (熊本高専)・西山浩司 (九大)
2. 電話番号下4桁による負荷分散の現実的効果
○佐藤大輔 (NTT)・川野弘道 (NTT-AT)・千葉芳之 (NTT 東日本)
3. グラフのマッチングに関連した辺彩色を用いたチャンネル割当とその有効性
○野村 駿・田村 裕 (中大)・篠田庄司 (早大)
4. DTNにおける情報滞留のためのプローブエピソード伝送について
○笠木響介・柄沢直之・宮北和之・中野敬介 (新潟大)・田村 裕 (中大)

◎20日16時～18時30分の予定で施設見学会を行います。

NEXCO 東日本新潟支社道路管制センター (所要時間は、移動も含めて90分の予定。朱鷺メッセ→管制センター (新潟亀田IC内)→新潟駅、移動のバスはNEXCO 東日本様によるチャーター便。)

また、懇親会を施設見学会の後に新潟駅周辺で企画しておりますので、奮って御参加下さい。

【参加申込】

氏名、連絡先、見学会参加、懇親会参加の有無を、下記申込先へ10月7日(火)までに、お申し込み下さい。

参加費：一般2,000円、学生1,000円 (公開フォーラムについては、参加費無料、資料代は別途一律1,000円)

懇親会参加費：一般5,000円、学生2,000円

【申込先・問合せ先】

井ノ口宗成 (新潟大)

TEL [025] 262-6115, FAX [025] 262-7050

川上 博 (NTT ドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

◎最新情報と過去の研究会プログラムを下記 Web ページに掲載致しておりますので御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

共催 国際危機管理学会日本支部

後援 NEXCO 東日本新潟支社

協賛 (第6回研究会) IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter

日本シミュレーション学会多次元移動通信網研究専門委員会

●第55回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人 (千葉大)

期日 平成26年10月24日(金)

会場 兵庫県立大学産学連携・研究推進機構会議室 (姫路市南駅前町123 じばさんビル3F. <http://www.jibasan.or.jp/conference/access.html>)

本研究会は、ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレ

ラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築（SOC: System On Chip）技術としては、IC内部の欠陥検出法（テスト手法やBIST: Build In Self Test）や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第55回機能集積情報システム研究会は、兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構にて開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

1. Codes Correcting Unidirectional Errors along with Bidirectional Errors of Small Magnitude

○Shohei Kotaki・Masato Kitakami (Chiba Univ.)

2. 複数のインスタンスを対象としたハードウェア SAT ソルバに関する考察

○大元将一・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)

3. 領域ベースの耐故障ルーティングに対する拡張2次元メッシュ NoC ○園田賢一・福士 将 (山口大)

4. PC クラスタにおける InfiniBand を用いたハイブリッド並列処理法の提案 ○諸角義志・津田伸生 (金沢工大)

5. セグメント分割伝送線の設計手法の解析と改良 ○大本健一朗・阿久津 駿・金澤健治・安永守利 (筑波大)

6. 循環器科通院患者の院内滞在時間の削減に関する一考察

○上浦尚武・小橋昌司・倉本 圭 (兵庫県立大)・藤井 隆 (赤穂市民病院)

◎最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。

◎研究会終了後に懇親会を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません。

参加費 1,000 円 (会場でお支払い下さい。学生は無料です。)

【問合先】

難波一輝 (千葉大大学院融合科学研究科)

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディベンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第16回フォトリックネットワークチュートリアル講演会

フォトリックネットワーク研究会は、PIF (超高速フォトリックネットワーク開発推進協議会) と共催で、フォトリックネットワークチュートリアル (第二種研究会) を開催致します。

日時 平成26年10月31日 (金) 14:00~17:00

会場 テレコム先端技術研究支援センター (SCAT) 5階会議室 (新宿区新宿1-20-2 小池ビル <http://www.scat.or.jp/scat/kotu.html>)

参加費 電子情報通信学会会員、PIF 会員、及び学生: 無料

一般: 5,000 円 (テキスト代 別途 3,000 円)

定員 70 名 (定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込み下さい。)

チュートリアル講演

1. 空間多重光伝送技術の最新動向 森田逸郎 (KDDI 研)

2. 光ファイバ無線技術とその応用 久利敏明 (NICT)

参加申込 <http://www.scat.or.jp/photonic/>より事前登録のページに進み、お申し込み下さい。申込画面の説明にございますように、当日は登録時の入力画面をプリントアウトして御持参願います。多数の方の御参加をお待ちしております。

【問合先】

品田 聡 (NICT)

TEL [042] 327-5679, FAX [042] 327-7035

E-mail: sshinada@nict.go.jp

主催 フォトリックネットワーク研究専門委員会, 超高速フォトリックネットワーク開発推進協議会